

平成 31 年 3 月 6 日（水）に開催した平成 30 年度第 3 回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 協議事項

(1) 公立大学法人静岡文化芸術大学 2019 年度 年度計画（案）について

ア 趣旨

高田理事から教育研究に係る計画、伊熊理事から法人運営に係る計画の説明があった。

イ 主な意見・質問

- ・文明観光学や匠領域に関するフォーラムやシンポジウムを公開し地域にも還元してくれることを楽しみにしている。
- ・浜松市は、多文化共生、中山間地域等、国土の縮図型市であり、課題にはことかかないので演習に適している。
- ・入学者受入について、18 歳人口が激減する 2018 年ショックというのがあるが、この対策は取られているか。
→本学の志願率は、全体として安定してきている。高大連携を重視し、高校からのニーズに応え高校で地域課題の解決の模擬授業を紹介している。
- ・志願倍率が良好なうちに、男女比率の平均化の方策を考えた方がよい。

(2) 公立大学法人静岡文化芸術大学 2019 年度 収支予算（案）について

ア 趣旨

事務局から、平成 30 年度収支予算の説明があった

イ 主な意見・質問

- ・遠州学林（仮称）というのはどういうものか。
→滞在型学内交流施設であり、留学生等の交流拠点となる。浜松版の文化・デザイン交流施設といえる。

3 報告事項

(1) 2019 年度 一般選抜の志願状況

入試室より、2019 年度の志願状況は、全体として伸びたという報告があった。

以上